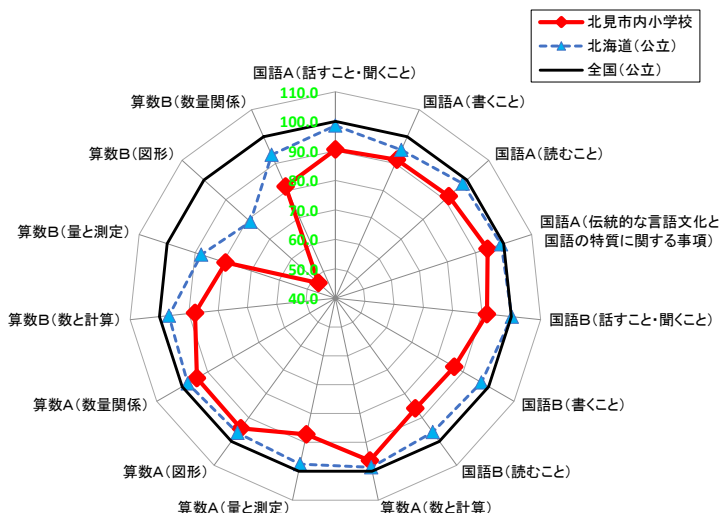


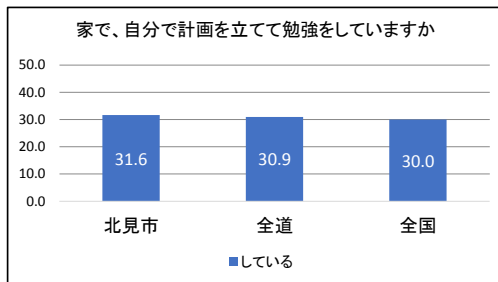
■北見市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:25校、児童数:821人)

【教科全体の状況】

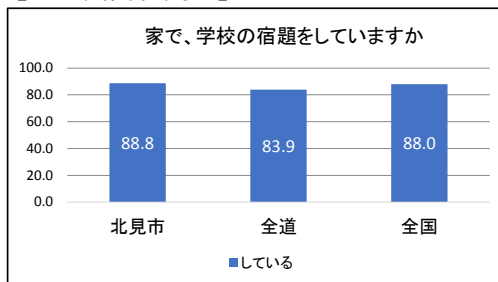
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



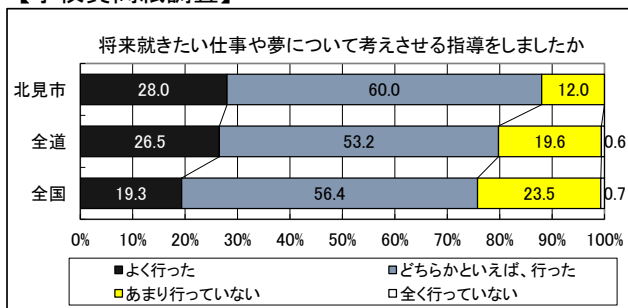
【児童質問紙調査】



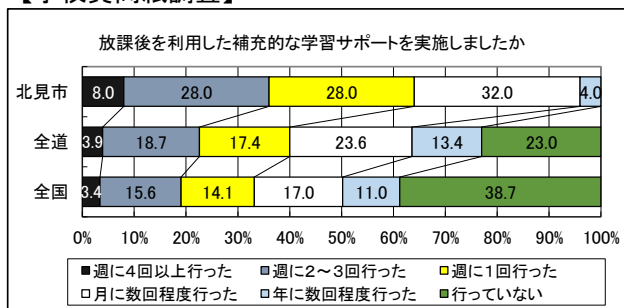
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたことにより、児童は目標に向かって家で計画的に学習に取り組んでいると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、放課後を利用した補充的な学習サポートを充実したことにより、児童の学習内容の定着が図られ、宿題に意欲的に取り組んでいると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「放課後を利用した補充的な学習サポートを実施した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

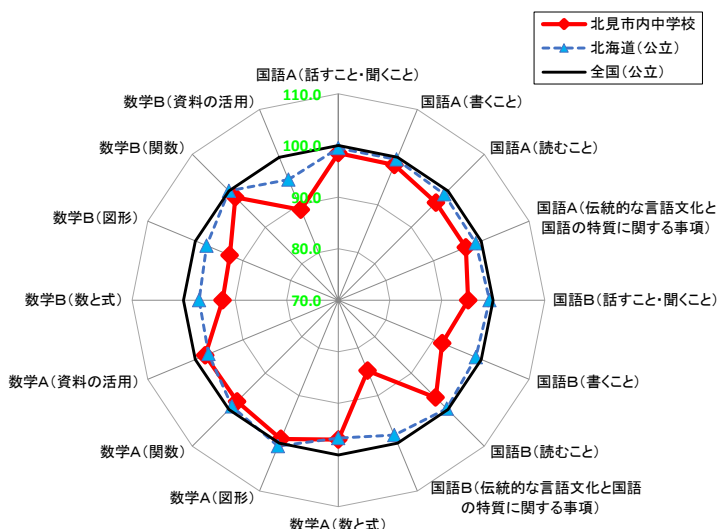
【北見市の学力向上策】

- ◎ 「北見市学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT機器(デジタルテレビ・実物投影機)の活用による分かりやすい授業の実現
- ◎ 北見市学力向上推進委員会と連携した「分かる授業」の実践及び「指導力向上推進事業」の充実
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組

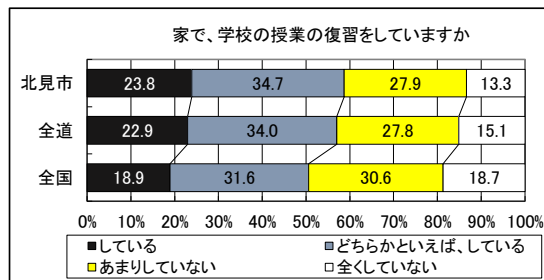
■北見市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:15校、生徒数:990人)

【教科全体の状況】

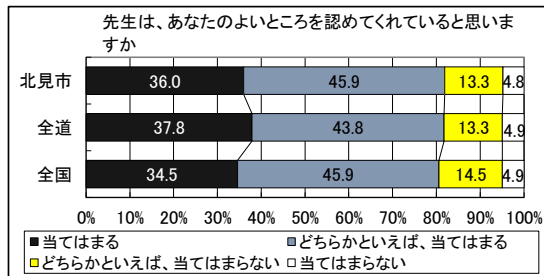
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



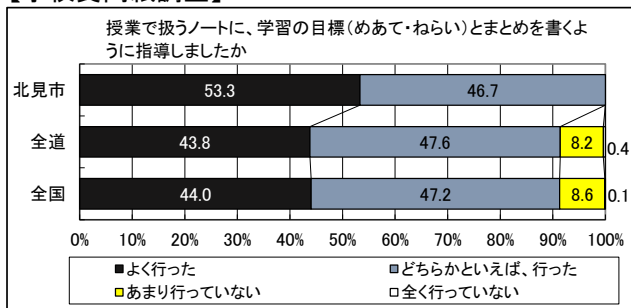
【生徒質問紙調査】



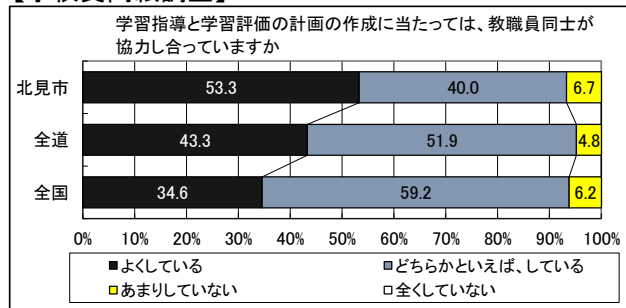
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

調査対象	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国とほぼ同様である。 ○ 数学Aでは、「図形」「関数」「資料の活用」、Bでは、「関数」で全国とほぼ同様である。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

【北見市の学力向上策】

- ◎ 「北見市学力向上3つのスタンダード」(学習環境をつくる・指導技術をみがく・指導方法を工夫する)の取組の推進
- ◎ ICT機器(デジタルテレビ・実物投影機)の活用による分かりやすい授業の実現
- ◎ 北見市学力向上推進委員会と連携した「分かる授業」の実践及び「指導力向上推進事業」の充実
- ◎ 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣づくりの取組